

春風胎蕩たる季節が近づきました。会員の皆様にはご健勝のことと存じます。当方目下ニューズレター第56号を準備中ですが、発行までにまだ日数を要しますので、ここに臨時号をお送りすることにしました。

東京月例会、会場変更せず！ 日時のみを変更！

先般三月の月例会で、来たる四月から月例会の会場を勤労福祉会館に変更する旨の発表をしましたが、この変更は中止し、引き続き従来通り、上野公園内の東京文化会館を使用することになりました。ただし日時を変更し、今までは毎月第一日曜日となっていました。これを毎月第二土曜日の午後二時より六時までとしますから、ご了承下さい。

ご注意！これは四月の月例会より（四月十二日の第二土曜日、午後二時より）変更しますから、お間違いなさようご注意下さい。

右の件に関する経緯は次のとおりです。東京文化会館は同館労組の要求により四月より日曜日の会議室貸貸しを一切中止することになったため、やむを得ず勤労福祉会館へ会場を変更することを一時考えましたが、交通至便、環境抜群、文化の殿堂として最高を誇る東京文化会館に対する会員諸氏の愛着は断ちがたく、加うるに近來は週休二日制の企業がふえたため、土曜日の午後には同会館で集会を開催してもさほど支障はあるまいと判断したわけです。ただし開会時刻は従来午後一時を延ばして午後二時としましたので、首都圏居住の方は大体に合うものと存じます。よろしくご了承下さるようお願い致します。

お花見パーティーを開催

四月十二日の月例会後に上野公園でお花見パーティーを開催します。ふるってご参加下さい。

◎日時 四月十二日の月例会を四時で終了と場所 引き続き公園内の適当な場所へ移動。

◎会費 一〇〇〇円。他に各自でビニールの敷物をご持参下さい。雨天の場合は当日の印象に従って場所をきめます。

◎申込 お弁当の準備の都合上、出席ご希望の方は三月末頃までに編者宛ハガキでお申込下さい。

GAP英語研究会を開設

五月より日本GAP英語研究会を開設します。これはUFO関係の原書の購読力を向上させるための講座として久保田八郎が奉仕的に行うもので、受講料は無料ですが、次の要領に従って下さい。

◎日時 五月より毎月第二土曜日の月例会研究会終了後、引き続き午後七時より九時まで。

◎会場 月例会研究会と同じ部屋。◎テキスト アダムスキー著「空飛ぶ円盤同乗記」の原書 Inside the Space Shipの第一章より。テキストは当方でコピーして配布しますから購入する必要はありません。

◎資格 日本GAP会員ならだれでも出席できます。

◎講師 久保田八郎

◎会費 テキスト製作費と会場費の実費として一回につき三〇〇円。

■テキスト製作の都合上、出席希望者は四月末日までに編者宛ハガキでお申込み下さい。

次号の主要記事

次号（第56号）にはアダムスキーの人間十五、六回の生まれ変わりに関する重要な論文である「永遠に生きるためには」を掲載します。これはニューズレター第18号に掲載しましたが「空飛ぶ円盤とアダムスキー（高文社刊）」に収録されなくなりましたので新しい会員のために次号に再掲します。その他に米国の奇跡マンとして名高いテッド・ノーウェン氏の「奇跡を起こす方法」と題する、すばらしい記事クリシュナムルティの「神とは何か」その他を掲載の予定です。ご期待下さい。ご寄付は如何ほどでも歓迎いたします。

（コスモ改題）

「UFOと宇宙」第11号

昨年十月に広島県尾道市の高校生・藤松和彦君が撮影したアダムスキー型円盤と母船のすばらしいカラー写真と記事、その他興味深い記事を満載。三月二十日に全国の書店で一斉に発売。この方にもぜひ目を通して下さい。定価三六〇円。コスモ出版社直接注文の場合は送料一五円を加算。

コスモ出版社、社員を募集中

編者経営のコスモ出版社は業務拡張のため次の要領で社員を募集しています。志望者は履歴書（写真添付）と願書を左記宛にご送付下さい。

1. 経理部員 高卒以上の男子または女子。三十歳位まで。経理関係の経験者に限る。
2. 営業部員 高卒以上の男子で普通車免許のある方（未経験にても可）。
3. 以上の志望者は日本GAP会員またはその家族・親せきに限ります。
4. 願書送付先 〒110東京都台東区秋葉原三の三

株式会社 コスモ出版社
〒110東京都台東区秋葉原三の三
アキバビル
社長 久保田八郎

カルマの法則 と運命

エドガー・ケイシーの予言により、遠からぬ将来、地球には物理的な大変動が発生し、特に日本列島は沈没するという噂がなっています。これは本当でしょうか？ ケイシーの的中率を考えれば、さりとて今から恐怖心を起こして逃げまどうわけにもゆきません。どのような事態が発生しようとするか？ と人間の運命はカルマ（原因と結果の法則）によってすでに決定しているために、センス・マインドで判断しても無意味であるから、「あそこへ行けば安全だ」と思って逃避した場所が意外に危険であったり、逃げ遅れたと思われる場所でも助かったりした例が如何に多いことか？ 人間の運命がセンス・マインドでは測り知れぬ神秘的な要素を含んでいることは多くの実例が示しています。私たちは今後どのようなことになるのか、個々に如何なる運命をたどるのか？ これらにだれにもわかりません。センス・マインドだけで判断して生きていく限りでは、正直な話、地球人はわずかに十分先のことも予測することはできないのです。その結果、不測の重大事故に遭遇してエライ目にあつたりします。

どうすれば助かるか？
答は簡単です。テレパシクな能力を開発して未来の出来事を予知するか透視すればよいのです。「そんな夢みたいなことが！」と嘲笑する人はすでに精神的に落伍しているのではないのでしょうか。万人の内部に宿る無限の力を見のこしているからです。しかしこのようなテレパシクな能力の開発は容易ではありません。未来を手にとるように透視する力を持つ超能力者はそうサラにはいないでしょう。

しかし別な方法があります。「慈悲」の精神に徹することです。たとえ予知能力はなくても神の如き慈悲の心を持つ人を、同じ周波数の生命波動で万物を生かしている「神」が見捨てるわけがありません。そこで、奇跡を生ぜしめるためには通常「神」といわれた宇宙の意識（英知と力を含む）に限りなく接近する必要があります。



東京文化会館
(天印が会議室方面への入口)

日本GAP

代表 久保田八郎
〒133東京都江戸川区本一色町365-1818
振替 東京359112



会費のご納入状況が
かんばしあります
ので、よろしくご
協力のことをお願い
致します。